

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 地盤改良本格化

記者発表資料

東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路となる『D滑走路』の建設工事は、2007年3月末に着工し、厳しい工程の中、365日、24時間体制で施工が行われています。

平成19年8月1日の東京港東京西航路の付け替えに伴い、D滑走路の工事区域を全域に拡大することができました。これにより、埋立部全工区において海上の地盤改良が実施されています。現在、現場海域では、16隻の地盤改良船がところ狭しと作業を行っています。

供用中の空港近傍での工事であり、かつ、大型船が航行する東京西航路に隣接したエリアでの海上工事であることから、空域、海域の両面からの安全確保に最大限注意を払い施工を行っています。

また、工事の内容を多くの皆さまに知っていただくために、工事現場が一望できる展望台を設けています。（予約不要、駐車場有）

【添付資料】

- ・パンフレット：東京国際空港（羽田空港）再拡張事業の概要

平成19年9月11日

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会
横浜海事記者クラブ	都庁記者クラブ

問い合わせ先	
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所	
D滑走路プロジェクト推進室	しけ みとめ 四家・三留
住所	東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階
電話	03-5756-6573
HP	http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html

東京国際空港D滑走路建設工事 現場状況

現在、現場海域では、外周護岸ならびに埋立予定地の一部で地盤改良工事を進めており、2007年3月末に着工し、厳しい工程の中、365日24時間体制で作業を行っています。

1. 現場海域作業状況

サンドコンパクション（SCP）船14隻、サンドドレーン（SD）船2隻、サンドマット船1隻が作業を行っています。地盤改良に使用する砂は、千葉県のスチックヤードからガット船で海上搬送してきます。



昼間作業状況



夜間作業状況

【地盤改良船】



○サンドコンパクション（SCP）船

軟弱地盤中にケーシングパイプを振動を用いて砂を供給しながら圧入し、大径の締め固められた砂杭を所定の間隔で造成すると共に杭周辺の泥土も圧密し海底の地盤改良を行う。



○サンドドレーン（SD）船

軟弱地盤中に砂杭を規則的に打ち込み、地盤内の間隙水を砂柱のドレーン効果により排出し地盤を圧密して改良する。

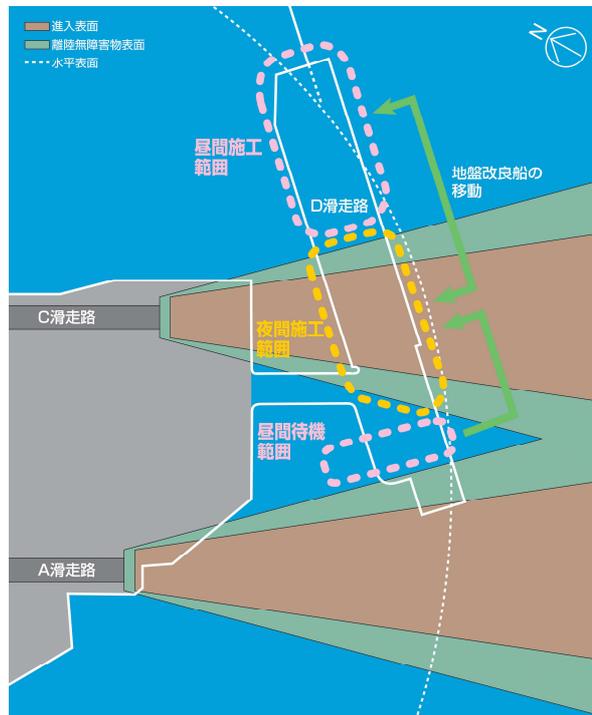


○サンドマット船

サンドドレーンでの地盤改良に先立って、脱水圧密促進のために軟弱地盤上に砂層を敷く。

2. 制限表面下での作業

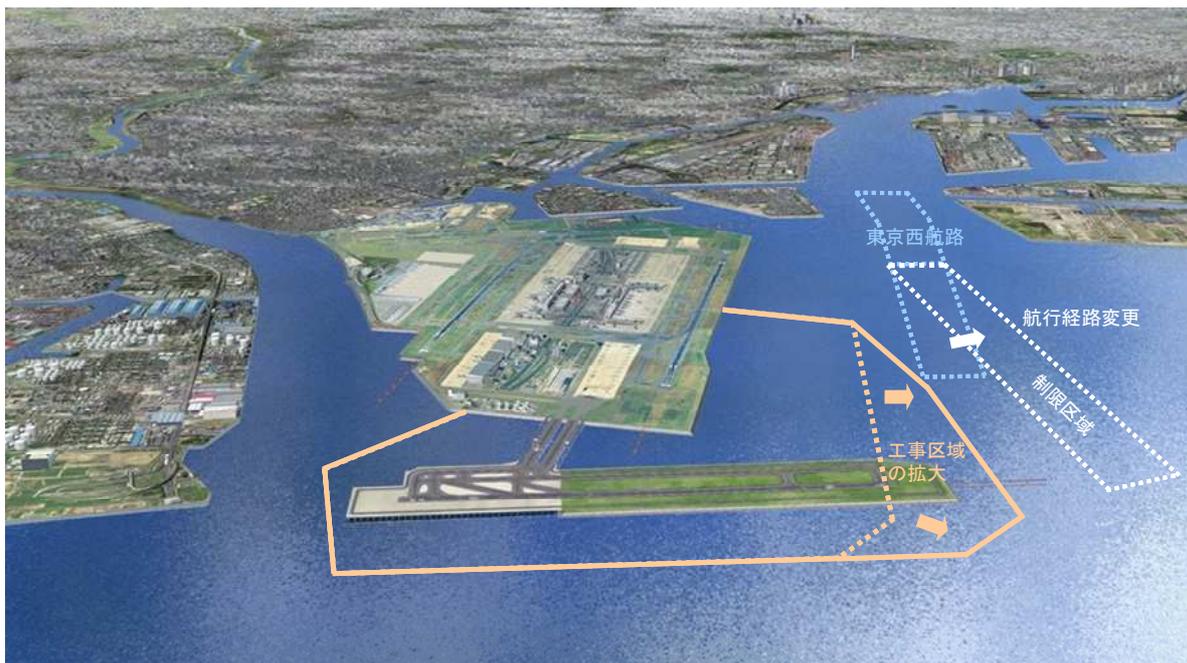
東京国際空港（羽田空港）制限表面に抵触しない範囲を昼間施工（昼間待機）、抵触する範囲を夜間施工とし、日々、地盤改良船の移動を行い、作業しています。



制限表面と作業範囲 イメージ

3. 工事区域の拡大

平成19年8月1日に工事区域周辺の海域における航行経路を変更したことにより、工事区域を拡大することができました。



提供：東京国際空港D滑走路建設工事共同企業体



D滑走路展望台



D滑走路建設工事の内容をお伝えするため、展望台を開設しています。
 展望台からは・・・D滑走路建設工事の工事状況を見ることができます！
 飛行機の離発着を間近で見ることができます！
 東京湾を一望できます！（千葉県側が見えることも！）
 大型コンテナ船の行き来を見ることができます！

興味のある方は是非お越しください。（予約不要、駐車場有）

開館時間：月曜日～金曜日（祝日を除く） 10時～17時
 問い合わせ先：03-6426-7211（NPOみなとサポート）

2階 映像コーナー

D滑走路建設工事に関する映像が見られます。

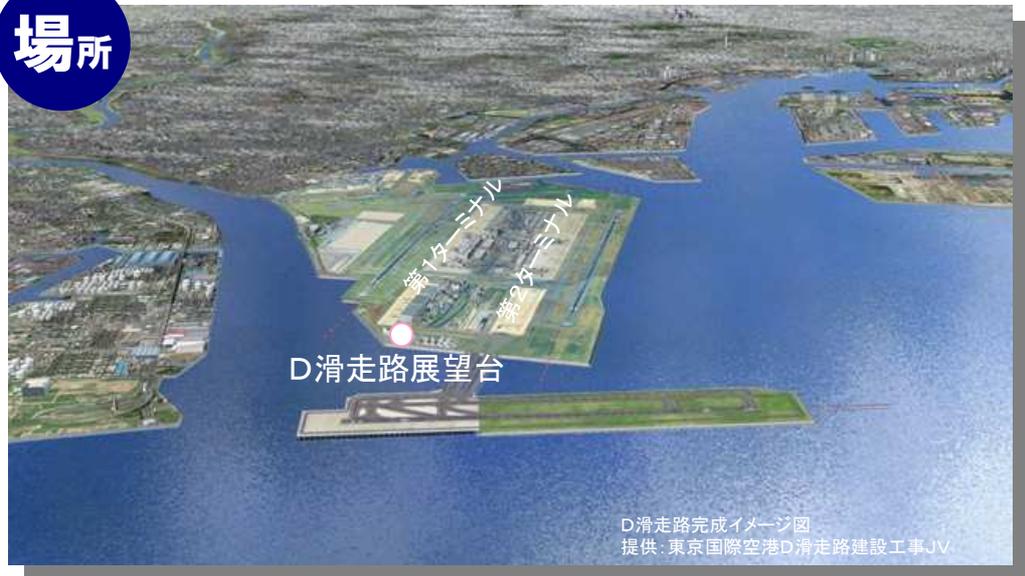
3階 展示コーナー

D滑走路建設工事に関する様々な情報を展示しています。

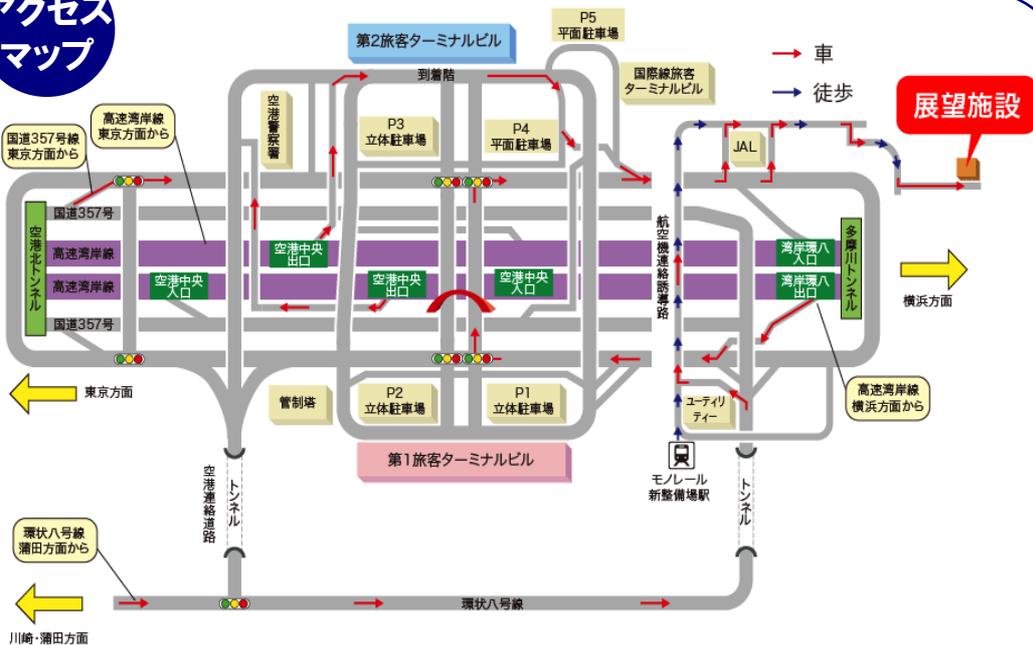
屋上 展望台

D滑走路建設工事の作業状況を見学することができます。

場所



アクセスマップ



屋上 展望台



3F 展示コーナー